

## 7～9月のイベント



**【天台寺あじさいまつり】**  
 ○7月3日(土)～25日(日)  
 ○八葉山天台寺周辺  
 瀬戸内寂聴さんが20年前に京都から株分けしたあじさい。約3000株のあじさいが天台寺の境内や参道を彩る。



**【金田一温泉まつり】**  
 ○7月24日(土)  
 ○金田一温泉センター駐車場  
 座敷わらしで有名な金田一温泉の夏まつり。温泉入浴料が半額でプールは無料開放。出店、アユつかみ大会も人気。



**【二戸まつり】**  
 ○9月3日(金)～5日(日)  
 ○市内中心市街地  
 三社の大祭で、神輿を先頭に9台の風流山車が、威勢のいい掛け声とともに目抜き通りを練り歩く。2日は前夜祭。

# ヒメボタル鑑賞会

100万匹のヒメボタルが織りなすファンタジックな光は二戸が自慢する森の宝石箱です。



えのみの会  
 わやまこや  
**和山耕也**さん  
 7月は折爪岳にホタルの花が咲く1年で一番にぎわう時期です。久慈と二戸はもはや一つです。陸生のヒメボタルをぜひ一度見にきてください。

この夏の  
一押し!

# 二戸へ に行こう

折爪岳、馬仙峡、天台寺、九戸城跡、座敷わらし、浄法寺漆…皆さんは、「二戸」と聞いて何を思い浮かべますか？  
 大自然と歴史・文化、美味しい食べ物に舌鼓、地元の人たちとのふれあい。この夏、二戸で感動を体験しましょう。

※4月、県は県北広域振興局を設置し、久慈地域と二戸地域を所管することになりました。今回の企画は、久慈市と二戸市で互いのまちの魅力を広報紙で紹介しあう交流企画です。

久慈市から自家用車で約1時間の場所にある折爪岳(852㍎)は、東北有数のヒメボタル生息地です。  
 ヒメボタルは、メスよりオスが大きくメスは、2～3秒間に1回瞬きながら発光するのが特徴。オスは1秒間に1回の割合で規則正しく発光しますが、両者が織りなすシンクロは、まるで真夏の山を彩る光のページェント。7月中旬には

ブナ林から山頂にかけて100万匹ともいわれるヒメボタルの幻想的な光景が、観る人を魅了します。  
 7月10日(土)～7月19日(月・祝)まで『ヒメボタル鑑賞会』が行われ、現地のボランティア  
 ・えのみの会によるガイドが行われます。  
 7月18日(日)には、午後6時～7時まで二戸市、九戸村、軽米町の3市町村による郷土芸能発表会も開催されます。  
 二戸が自信を持っておすすめする「森の宝石箱」をぜひ一度ごらんください。

## アクセス

【マイカー】久慈駅から二戸駅まで約1時間  
 【路線バス】スワロー号(久慈駅～二戸駅)が、1日8便運行。運賃は大人片道1,500円、小学生半額。

## 問い合わせ

二戸市商工観光課(二戸駅なにやーと内)  
 ☎0195-23-7210

## みやげ



なにやーと物産センター

JR二戸駅に隣接するカシオペアメッセ・なにやーと1階にあり、岩手県北・青森県南・秋田県北東の19市町村の特産品を販売。雑穀や地酒、お菓子、南部せんべいなど、品揃えは1800点以上。

## 味



安心と味にこだわる若鶏

全国有数の若鶏生産地である岩手県で最大の出荷羽数を誇る二戸地方。特徴ある飼育方法による「あべどり」「菜彩鶏」などがあり、鶏料理は地酒「南部美人」、特区のどぶろくとの相性も抜群。

## みどころ



シビックセンター

二戸市の生んだ偉大な先人、物理学者田中館愛橋博士の記念科学館と、二戸市ゆかりの世界的なグラフィックデザイナーでトリックアートの第一人者、福田繁雄氏のデザイン館が併設されている。